

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2020

1月号
vol.642

月刊

同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



特集

「直方市中小企業振興条例」徹底検証！

～のおがた支部10月例会より～

21世紀型
自立型
企業づくり

『人の温もり』を届ける伝道師

西田 朋之 氏 [にしだ写真館]

ポケット月刊同友



福岡県知事
小川 洋 氏

新年あけましておめでとうございます。

貴会におかれましては、1963年の創立以降、中小企業経営者の皆さまが学び合う異業種交流の会として、「自主・民主・連帯の精神」で、自立的で質の高い企業づくりを目指した活動を展開されております。そのご熱意、ご尽力による、本県中小企業の振興、地域経済の発展への多大な貢献に、心から感謝申し上げます。

さて、去年は、お代替わりがあり、「令和」という新しい時代が始まりました。

アジア初のラグビーワールドカップ日本大会は大成功。日本代表チームの活躍により、選手の皆さんと日本中が「ONE TEAM」になりました。

一方で、大雨、台風による災害が全国各地で発生し、本県では、平成29年以降3年連続の災害となりました。引き続き、被災地の復旧・復興に全力をあげてまいります。

本県の景気は、海外経済減速の影響が見られるものの、緩やかに拡大しています。一方で、通商問題、日韓関係、消費税率引上げなどによる影響を注視していく必要があります。

また、私たちは、急速に進む少子高齢化と人口減少、「第4次産業革命」の進展、「人生100年時代」の到来といった大きな変化に対応しなければなりません。

この新しい年、三つの大きな変化をしっかり受け止め、福岡県のさらなる前進、発展のため、全力を尽くしてまいります。

まず、誰もが住み慣れたところで「働く」ため、県経済の発展の原動力である中小企業を振興し、それぞれの成長段階と事業環境に応じたきめ細かな支援、事業承継に取り組みます。

そして、自動車、水素エネルギー、バイオ、IoT、航空機など成長産業を育成します。

昨年、2年連続で、国から全国7つの特区の中で最も高く評価された「グリーンアジア国際戦略総合特区」は、設備投資額3,190億円を突破し、約1,770人の新たな雇用が生まれています。引き続き、一つでも多くの事業化を実現します。

加えて、多くの分野において、AI、IoT、ロボットといった未来技術の導入を進め、特に、「中小企業の生産性向上」と「スマート農林水産業」とを加速していきます。

県といたしましても、中小企業の発展と、それを通じた福岡県全体の発展に、全力を尽くしてまいりますので、今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

結びに、新年が福岡県中小企業家同友会の役員ならびに会員の皆さまにとって、素晴らしい一年となりますよう心からお祈りいたします。



同友会 3つの目的
よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

はみだしレポート

今月の自立型企業づくり



にしだ写真館 代表

西田 朋之 氏
(有明支部)



竹下産業株式会社 代表取締役社長 竹下 政敏
(有明支部)

私が西田さんをご紹介します

西田さんは威宜塾(かんきじゅく)にゲストとして参加していました。そこで同友会の魅力を知り、各支部の例会にもゲスト出席されました。写真館を柳川で開業されているということで、当時りょうちく支部長だった松尾さんに紹介されて有明支部に入会されました。

西田さんの入会の理由は経営指針や管理会計について学びたいという動機です。その意欲に支部も良い影響を受けて、雰囲気も変わり、前向きに進んでいます。有明支部でも本年度から威宜塾を立ち上げて、会員、ゲスト共に経営の勉強をしています。

上へ写真を掲載する時代へ移り、楽しみ方や利用形態も変化しました。その中で「家族の時間に温もりを届ける」という価値をにしだ写真館は提案し、ファンづくりに成功しています。

にしだ写真館が建つ場所は柳川の特別な場所です。目の前には明治5(1872)年まで柳川高校の敷地には明治5(1872)年まで柳川城があり、風見鶏を屋根の上に置き、洋館の要素も入った、ちょっとレトロモダンな感じの建物です。建物内には西田さんの作品が多く展示されています。2016年富士フィルム営業写真コンテストにて銀賞を受けた写真もあり、西田さんが捉えた「ひとの温もり」が伝わる作品たちです。心温まる作品を鑑賞できる、にしだ写真館を訪ねて、柳川へぜひ足をお運びください。

※威宜塾とは、県南地区がりょうちく支部と有明支部に会場を設けて、経営計画について学ぶ活動です。



今月の表紙 玉せせり

撮影・文 / 富谷 正弘 (玄海支部)
株式会社ココスイメージ

毎年1月3日に行なわれる筥崎宮(福岡市東区)の玉取祭は、別名「玉せせり」といわれています。全国に知られる祭りで、今から500年前の室町時代に始まったとされている筥崎宮の神事です。300人の競り子は玉の争奪戦をくり広げながら楼門に待つ神職の手に玉を納め、陰陽の玉が揃って神前に納めれば神事は終了です。陸組と浜組に別れた玉の争奪戦は、陸組が玉を納めれば豊作、浜組が納めれば豊漁といわれています。

直方市中小企業振興条例 徹底検証！

～のおがた支部10月例会より～

福岡同友会は「中小企業振興条例の制定と活用で、具体的な成果事例を全県に」という方針を定めています。直方市中小企業振興条例(県下で最初の理念型条例)は、平成24(2012)年10月9日に施行され、7年の歳月が経ちました。ここでいま一度検証すべき時期と捉え、今回の例会が開催されました。



報告①

直方市 大塚市長が考える「直方市中小企業振興条例」の在り方について



大塚 進弘 氏

直方市長 大塚 進弘 氏
(氏は制定時の2011年から4年間副市長、2019年4月から現職)

直方市は平成27(2015)年3月に「直方市産業振興ビジョン」を策定し、ビジョンに基づいて平成28(2016)年3月に「直方市産業振興アクションプラン

」を策定しました。(P5図参照) 成果が上がっているものもありますが、行政の立場として反省すべきものもあります。人口減少・少子高齢化が進む中で、技術革新への対応や、新しい産業起し・誘致を推進し、域内の中小企業が活躍できる環境づくりを整える必要が

あると考えており、都市間連携や県の協力も引き込んでまいります。展望の見えないところには後継者は育ちません。街中を元気にするため街中に働く場をつくっていききたいと思っております。のおがたの「稼ぐ力」を高めるため、医療や介護・建設業・製造業などICT活用を進め、チャレンジする集団、投資を

呼び込む環境を作り出していきたいと思っております。そのためには誰が何をやるかはつきりさせるとともに必要な人材確保等支援してまいります。中小企業家のみならずには、企業家精神の発露、企業市民としての役割を担っていただければ幸いです。

直方市産業振興アクションプラン 3つの柱

1 (仮称)のおがた“働く”ウィークの開催

■ 市内事業所の見学会開催	→ 実施 ○
■ “働く”をテーマにした展示会@ADOX福岡別館	→ 実施 ○
■ ザ・直方Day in 中小企業大学校直方校の開催	→ 実施 ○
■ 企業ガイドブックを活用した市内事業者掲載「リクルートガイドブック」作成	→ 実施 ×
■ WEBサイトの構築サポート・マーケティング支援の実施	→ 実施 ×
■ 地域資源を生かしたビジネスプランコンテスト(創業・起業の視点)	→ 実施 △ (一部実施)

2 広報機能強化による地域産業のブランディング (新たな産業振興への布石)

■ 直方市の産業に関する双方向型情報発信・共有手法の構築(産官学連携事業)	→ 実施 ×
■ 市民ニーズを充足する産業情報について、広報誌への定期的な掲載を実施 (中長期的には、市内産業のマーケティング機能を補完する役割を直鞍産業振興センター(ADOX福岡)産業振興部門が担うように機能を移行)	→ 実施 ○

3 直鞍産業振興センター(ADOX福岡)産業振興部門の機能強化 (工業振興係との連携強化・運営)

■ 直方市工業振興係と直鞍産業振興センター(ADOX福岡)産業振興部門の連携強化	→ 実施 ○
■ 市内産業の発展に向けた、産業情報に関する集積拠点	→ 実施 ×
■ 情報面におけるマッチング機能の充実(雇用・販路に関する情報提供、マッチング)	→ 実施 ○
■ 個々の企業の経営力・技術力の強化 (企業ガイドブックを活用したマーケティング支援、就労支援)	→ 実施 ○
■ 人材バンク的な機能の設置 (起業・創業支援、UIJターン人材にとっての情報拠点、合同面談会実施の際の中心的な役割)	→ 実施 ×
■ アドバイザー・コンサルティング機能の充実に向けた「事業相談窓口機能」の設置	→ 実施 ○
■ 「福岡県よろず支援拠点」との連携	→ 実施 ○
■ 近隣市町村と連携した“直鞍メッセ”の開催準備、“(仮称)のおがた働くウィーク”の開催支援	→ 実施 ×

「直方市中小企業振興条例」の在り方について

株式会社紀之国屋 会長 中村 高明 氏



中村 高明 氏

平成22(2010)年6月に「中小企業憲章」が閣議決定されました。私は中小企業憲章制定運動や直方市中小企業振興条例制定の立ち上げから携わってまいりました。

福岡県下最初の理念型条例制定から7年が経ち、企業人として、産業振興ビジョン・アクションプランのさらなる発展のために提言を申し上げます。(以下抜粋・項目ごとに表記)

- 1 住みたくなるまちの創造〜こどもの笑顔がみえるまち〜
- 2 働きたくなるまちの創造〜多様な働き方が選べるまち〜

3 誇りあるまちの創造〜次世代へ受け継いでいくまち〜

この基本目標の完全実施を望みます。基本目標通り、女性の就業・創業・起業・働きやすい環境づくり、安心して働ける環境づくり、結婚、出産・子育て、復職・再就職の支援等の実施を望んでいます。次に、直方市の「楽しく、皆が元気になる」ブランドイング、たとえば「プラスバンドの街・おがた」「持続可能な開発目標SDGsの街・おがた」「スマートシティ・おがた」などをみんなであつていくことです。

- 1 住んで良かったと思える、働く人を大切にすまちづくり部会
- 2 域内経済循環部会
- 3 モノづくり・創業・ソーシャルビ

ジネス推進部会

- N・biz直轄ビジネス支援センターとの連携
- 経営基盤・人材部会

確保等

- 都市計画、観光資源開発、商店街活性化等

「直方市中小企業振興条例」徹底検証！

行政と企業が考える「直方市中小企業振興条例」



金子 順次 氏

現在、筑豊地区5市(直方市・飯塚市・田川市・宮若市・嘉麻市)全てに中小企業振興条例が制定されており、これは全国でも例がないと聞いています。また、その他の町村でも条例制定の動きがあると伺っています。

直方市中小企業振興条例は、理念型条例としては福岡県内で最も早い2012年に施行されました。発案から10年、施行から7年の歳月が経ち、検証・改善すべき時期が到来しているのではないかと考え、本例会の開催に至りました。

のおがた支部では旧筑豊支部時代を含め、直方市中小企業振興条例に関する例会を3度開催しましたが、会員・参加者の条例に対する知名度・認知度は決して高くはないと感じています。

私個人としては、今後毎年1度は中小企業振興条例をテーマとした例会を開催し、会員・参加者の条例に対する知名度・認知度を深めていくことが企業づくり、地域づくりに繋がっていくと考えています。本例会に参加いただいた皆様には、中小企業経営者が抱える悩みや問題点を決して行政任せにすることなく、企業・地域を活性化させるために経営者自らが情報を掴みにいく積極性がさらに求められることを実感いただけたのではないのでしょうか。

「直方市中小企業振興条例」について

コーディネーター…中川 甚広 氏(株式会社ベストプラン 代表取締役) パネラー…大塚 進弘 氏、中村 高明 氏



中川 甚広 氏

中川…私の方から質問してまいりますのでよろしくお願ひ致します。

この直方市中小企業振興条例は他の条例と、どう違うのでしょうか。

中村…理念型条例であるというところがです。前文にこう謳っています。

「…中小企業の振興が本市の発展に欠かせないものであるという認識を、企業はもろろんのこと市民、行政などの社会の構成員が共有することが何より大切です…」

が大事だと思います。

中川…総合戦略は2019年に終了しますが、そのあとは。

大塚…今の計画を1年延ばそうと考えています。

中川…PDCAを回していくということになりますか。

中村…ビジョンの「住んで良かったと思える・働く人を大切にすまち」を「目指して」を徹底することを希望します。課題を再度抽出し、どう解決していくか対策を策定し、PDCAを回していく。

中川…これまでの成果の報告がありました。付加価値はありますが、これが反省点です。要因を分析して、なぜやれなかったか、これから誰がやるかを明確にするの

中川…人材部会という新しい提言がありました。

中村…人材確保、インターンシップ、事業承継などを議論します。

中川…本日の提言の優先順位は。

中村…私の考えでは直方はどういうま

ちかを表す「ブランド」づくり、そして「域内経済循環」の順です。必要なモノ・サービスは地元の店・会社から買わないと地

中川…条例の周知をどう図っていきますか。

中村…「語り部」の存在が必要ですね。同友会の会員がなるべきです。

大塚…周知月間などを設けるのもいいかも知れません。

中川…実態調査についてはいかがですか。

中村…アンケートになるのでしょうか、市の職員の方が1件1件訪問していただけないでしょうか。

中川…部会をどう運営していきますか。

大塚…行政としては予算を付けたらその結果として、翌年度に決算報

中川…本日はありがとうございました。

まとめ

中小企業は市経済を牽引する力であり、社会の主役として地域社会と住民生活に貢献し、伝統技能や文化の継承に重要な機能を果たしています。少子高齢化・人口減少により地域が衰退していく時代に、私たち自身が地域づくり(仕事づくり・人づくり・暮らしづくり)に積極的に行動しなければなりません。行政と一緒に、地域を活性化させましょう。



『人の温もり』を届ける伝道師

無意識にやっていたことを『写真』が教えてくれた

父親とぶつかりました」と西田さんは振り返ります。

外的環境に左右されない『自立型の経営』を模索していました。同業者でもある松尾勝彦さん(写真の松屋㈱)より、うちく支部の勧めで、若手写真家をつくる『パイオニア・グリーン・サークル(通称PGC)』に入会し業界の情報収集に努めました。

戦略のソフト面とハード面

平成16(2004)年に長女が誕生します。西田さんは家族が増えたことで責任感とともに家族の絆を強く意識するようになりました。

PGCなどでマーケティングの勉強をしていて、自社のお客様の実態を把握する必要性を感じ、実際に訪問してみました。お客様が自宅の壁や階段などに毎年撮影している家族写真を飾っ

ているのを目の当たりにしました。西田さんは「これだ！」と自分の仕事を再確認できたと言います。

「もともと城下町だからといって武士の装束で写真を撮るなど奇をてらつたり、技術に走ったりするのではなく、お客様の家族と時間を共にして記録に残す、普段着の家族の写真に特化していくことにしました。名付けて『君と歩みちーほんわか家族写真』。ターゲットは『子育て家族』で生後5カ月から3歳児のお子様のいる家族としました。大手チェーン店も子どもをターゲットとした低価格の写真の提案をしています。が、にしだ写真館は低価格に走ることなく、そこがおつきあいのスタートであると位置づけました。方向性が定まれば、お客様に対する説得力が増します。

年に3回発行するニューズレター『ほんわか通信』は奥さんが担当し、自

にしだ写真館 代表

西田 朋之 氏

有明支部

写真館経営は厳しさを増しています。にしだ写真館は決して奇をてらうことなく、お客様に喜ばれる付加価値のある提案をしています。

取材 広報部
文章担当 菅原 弘(東支部)
写真 真 旭 晋平(事務局)

実家に戻る

にしだ写真館は、平成26(2014)年に柳川城・三の丸跡地に移転してきました。柳川藩主立花邸宅『御花』のほど近くで、昭和レトロの雰囲気醸し出す建物です。

昭和25(1950)年に祖父・禎之さんが開業し、その後、父・善吾さんへ引き継がれて柳川市内の商店街でスタジオを構えます。

西田さんは西田家の長男として昭和48(1973)年に生まれます。大学を卒業して一度は就職を選んだものの、実家を継がなければいけないという責任感から改めて写真の専門学校に進みます。東京のある写真館で修業して腕を磨いていきました。

平成10(1998)年、家業を継ぐべく柳川に戻ってきます。「そこそこの技術は修得していたので何とかなるだ

らが体験した子育てのエピソードを紹介するなど好評を得ています。ちなみにこのニューズレターはお客様にお渡しするので、発行部数は売上げに比例し、金融機関への説得材料になっています。

当時のスタジオでは手狭になり、新しい写真館がほしいと思い、物件を探し始めます。

こうしてソフト面とハード面の向上に取り組みようになりました。

3代目に就任

平成25(2013)年、西田さんは3代目の社長に就任します。3年ほどかかったという土地探しで翌年、『誰でもわかる場所』の現在地に、新しい写真館を建てて再スタートです。

幸いなことに、有名な写真館を手がけた経験を持つ設計士さんの提案で満

ろうと高をくくっていました。フタを開けてみれば大違いでした。当時の仕事は学校からの卒業アルバム、斎場から遺影写真と、外部への依存型でした。「景気が右肩上がりの時はそれでもよかったです。が、いわゆる失われた10年の時期で、少子化による人口減少、そこに価格競争が加わり、写真館の利用者は減る一方で先行きが見えない状態でした。仕事のやり方でよく



足のいく写真館になりました。高齢社会を見据えて全館バリアフリーにしました。こだわりは作業の動線です。受付、お客様への説明、衣装、撮影、そして撮影した写真を見ていただくという一連の流れが仮にお客様が重なったとしても滞ることなくスムーズになっています。カメラマン(西田さん)の手元でスタジオ内の装置が作動するようにもなっています。

写真館を新築移転したことで、付加価値を高めたサービスの提供ができるようになった。

同友会との出会い

新館オープンで売上げが急速に伸びましたが、税金を支払うための準備が不足していたため資金繰りが厳しくなりました。

「こんなに忙しいのに、なぜ手元にお



にしだ写真館を訪れた子どもたちが身長を記録していきます



私たちは人の温もりを届ける伝道師です。その温もりの連鎖が地域社会に広く伝わり愛に包まれた豊かな未来社会づくりに貢献します。





「同友会運動の発展のために」

思いは一つ



報告者



北九州支部長
兼竹 義彦
有限会社力ネタケ 代表取締役



楽しみながら
実りある例会を!!



地域の若者を地域で育てる活動

北九州支部は、現在会員144名の会勢です。「10年先の未来を見据え、今こそ実践 同友会運動」をスローガンとし、同友会運動を通して、会員企業が成長・発展しながら自社経営を安定させるという支部活動を行っています。

北九州地区会との連携ではありますが、地域政策部では、金融機関との懇談会や助成金勉強会等を行っています。採用・共育研究会では、高校生の採用を見据え、市内高校の校長先生や進路指導担当教諭との懇談会や、出前授業・インターンシップ受け入れ等を行い、教育機関と協力して地域の若者を地域で育てる活動を行っています。

自覚芽生え、ゲスト参加あふれる例会

同友会活動において会員増強は、大命題です。そこで、北九州支部の咲ブロックが中心となり、ゲストを呼ぶ例会を企画し、8月例会にリーガロイヤルホテルにて行われた「経営者大交流会」に、会員48名・ゲスト58名の総勢106名が参加いただきました。

前半は、プロジェクトを使って同友会の説明を行い、後半は飲食しながら懇親を深めました。これを機に11月までに6名の入会に繋がり、例会時のゲスト参加が常時5名以上となっております。

この流れは、役員研修会にて同友会役員のテキスト「同友会運動の発展のために」を読み合わせたことで役員の一人一人に自覚が芽生えたことによるものだと考えております。

今後も楽しみながら、会員増強を続け 実りある例会作りに邁進する所存です。

「温もり」を求めていました



した。

5人家族の撮影でした。材木店を営む父親が

フォークリフトで大きな丸太を運び出すと子供たちは大はしゃぎしています。

「おかげさまで、現在では売上や資金繰りも順調で、当初の計画通りの数値になりました」と西田さんは話します。

全国2位に輝く

平成28(2016)年に写真業界で權威のある『富士フィルム営業写真コンテスト銀賞(全国2位)に輝きました。「これでお客様にも、客観的に業界からも認められました」

平成30(2018)年には同友会に入会し、すぐに『あすなる塾』経営指針作成セミナー』を受講しました。そこで「仕事を見つめる時間ができ、自分が何を残したいのかと熟考していました」

「全国2位を取ったのだから何か持っているでしょう」との講師の言葉に受賞作を撮影した時のことを回想しま

ロゴに込めた思い

にしだ写真館のロゴは時間を表す砂時計がモチーフの根底にあり、とどめることのできない時間や薄れゆく記憶を永遠に残す意味でメビウスの輪＋＋のイルムのイメージを表現しています。写真の無限大の力も表しています。現在取り組んでいるのは、商標登録

にしだ写真館

までした二分の一人成人式「10歳の夢」です。子供たちに作文してもらいそのイメージを具現化した写真の撮影です。また、「孫に残したい、おじいちゃんの生涯、おばあちゃんの生涯」をキャッチフレーズに「家族史」のアルバム制作を提案しています。

健康なスタッフ、健全な会社

新築移転や写真館の忙しさも重なり、西田さんは体調を崩しました。健康の大切さを痛感し、スタッフ全員でヨガを始めるようになりました。

「いまでは健康です。健康でなければいい仕事できません。さらに、週休2日制にしました。人も健康で会社も健全でなければいけません」

ちなみに柳川の「Yoga Studio あうん」を通じて知り合った、世界中で活躍中のヨガの歌姫、ダフネ・ツェ。自社のプロモーションビデオに、彼女の美しい曲「マザー・テレサ」の使用の承諾を得て完成できました。

取材の最後に西田さんの考える自立型企業についてお伺いしました。

「経営者が理想とするビジョンを持ち、スタッフが心身ともに健康でそれに向かっていく会社だと思います。地

にしだ写真館

創業 1950年4月
住所 柳川市本城町109
電話 0944-72-3568
従業員数 4名
HP-URL <http://honwakakazoku.com>
事業概要 暮らしの中に写真の豊かさをモットーに写真を通じてお客様の幸福な時間を提供します。



にしだ写真館の心温まる
プロモーションムービー
をご覧ください



西田さんの受賞作も
ご覧いただけます

域のみなさまやお客様に応援していただいで成長していく組織ですね」と締めたいいただきました。取材協力ありがとうございます。



全国の仲間とゴルフを楽しみました



太宰府天満宮で開催された全国交流会

IT部会会員向け
Facebookページ



Let's GO!!

委員会へ 行こう!!



IT部会

IT部会長 福田 裕聡 (南支部)
株式会社スミリオン 代表取締役



今こそIT部会へ

少子高齢化による労働人口の低下により、日本国内の多くの中小企業が人手不足という大問題を抱えています。人手不足問題を解消するための一つの方策としては、労働生産性と付加価値の向上をいかに効果的に行うかということがあげられ、その解決策はわが国でも頻りに議論されているところです。

その一つの解決策としてICTの活用は以前から言われていることであり、クラウド、IoT、AI、ブロックチェーン、ドローンといった新しい技術も登場しています。しかし、なぜいまだに労働生産性や付加価値の向上を効果的に行うことができていないのか？

これは、中小企業に専門性の高い人材が在籍していないことや、経営層や働く人達のICTリテラシーの低さに原因があると考えられています。

今まさに中小企業はICTとICT人材の重要性を見直し、諸外国に負けない強い企業づくりのため、効果的なICTの導入と活用をしていく必要性が問われています。

我々の業界はICTを提供することにより、中小企業に今より一層強い会社になつてもらい、わが国を一層豊かにしていく必要があります。それにはIT部会員の得意

力します。

また、社員さんも巻き込んだ「社員例会」を開催し、社員同士のコミュニケーションを活発にしながら、技術力や品質の向上を促進します。

IT部会の広報活動として例会活動をフェイスブックなどのSNSを通じて、部会運営の情報を積極的に公開します。

活動内容

例会：毎月第4水曜日
18:30~20:30
(祝日の場合は翌日に変更)

● 渉外担当

他県IT部会との交流と全国大会への参加促進を主とした活動
池村 健一 (福友支部)

● 監事

部会運営が目的通りに運営できているか監督する
倉本 明彦 (南支部)

役員

● 副部長

例会の運営と仲間づくり活動を主とする

- 阿部 宗明 (南支部)
- 榎本 典之 (南支部)
- 橘 信洋 (福友支部)
- 鈴木 貴人 (博多支部)
- 大神与志雄 (福友支部)
- 後藤 大輔 (中央支部)
- 縄田由希子 (南支部)
- 丸尾 恵子 (中央支部)

一般社団法人福岡県中小企業家同友会

2019年度第7回理事会議事録 (一部抜粋)

日時 2019年11月27日(水) 14時30分~17時50分 出席 37名(出席率82.2%)
会場 福岡県中小企業振興センター 401A会議室 議長 重松 和孝(理事/筑豊地区会長)

審議事項

9月の台風災害について

総務財政室長より、9月の台風災害の被害状況について報告された。台風によって、本社・社屋以外が損害を受けた会員企業が2社あった。組織運営規程49条6項に基づいて、理事会の承認を得て見舞金を支払って欲しいとの提案がされた。審議の結果、2社に対して見舞金を送ることが承認された。

確認・報告事項

会員企業の動き

- 経営革新計画承認企業 2019年10月(県27件/うち同友会会員・企業3件)
 - ・(株)タケノ 竹野 孔氏(東支部) 〈テーマ〉非公開
 - ・(有)宮原塗装 宮原悠一郎氏(玄海支部) 〈テーマ〉非公開
 - ・計測検査(株) 坂本 敏弘氏(北九州支部) 〈テーマ〉非公開
- ※ 累計で福岡県全体では6,568件、会員企業は延べ471件です。

対外的対応事項

信金提携ローン進捗状況について

信金との提携ローンについて、全信金で取り組む予定となっている。手順や証明用紙の書式については、現在相談中。

● 表彰など

- ・福岡県男女共同参画表彰
社会における女性の活躍推進部門
ナガタ建設(株)イエノコト 淀川 洋子氏(筑紫支部)
- ・同友エコ2019 同友エコ奨励賞
(有)共栄資源管理センター小郡 道久 嘉朗氏(筑紫支部)
(株)大匠建設 井上 真一氏(博多支部)
- ・「子どもと家族・若者応援団表彰」内閣総理大臣表彰及び内閣府特命担当大臣表彰の受賞
並びにチャイルド・ユースサポート章
内閣総理大臣表彰
NPO法人 発達障がい者就労支援ゆあしっぷ
桑原 由美子氏(西支部)

わかりやすい例会と情報公開

IT部会は、IT部会員だけでなく、一般会員の皆様にも有効な例会運営を心がけています。このような運営・活動を通して部会員の増員も努めてまいります。そして昨年の秋、福岡IT部会が主催した全国交流会が開催されました。IT部会員皆さんと共に価値ある全国交流会が開催できたと思えます。

目標

- 1 同友会会員企業がIT部会を通して今よりもさらにITリテラシーを高め成長できる例会作り
- 2 我々IT部会員がそれぞれの得意分野を共有し、お互いを活かす例会づくり
- 3 IT部会員とその社員たちのスキル向上を目指した例会づくり
- 4 IT部会員と学生との交流を深め、ICT人材の創出に貢献する例会づくり

分野や強みを最大限に生かしながら価値を届ける必要があります。またICT人材を増やすために学生たちとの交流も視野に入れた学民連携も必要とされています。本年度は以上のような時代背景を踏まえつつ、次の4点の目標を掲げて運営していきます。



福岡IT部会が主催した全国交流会の懇親会にて

1月の行事案内

経営指針作成『あすなろ塾』福岡会場

1月18日(土) 9:15~18:00

福岡県中小企業振興センター 501号室
福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センター5階
2019年度4回目の経営指針作成『あすなろ塾』を開催致します。『あすなろ塾』は同友会における経営指針の基礎知識を学習する1日セミナーです。当日は、経営指針の全体像を理解し、経営理念の作成を目標に参加して頂きます。後日別開催の『経営指針作成セミナー』では、SWOT分析、財務分析等を学びながら経営方針・経営計画の作成を行っていきます。申込期限：1月8日(水)までにお申込みください。また、9日(木)以降のキャンセルは、キャンセル料を頂きます。*定員に達した場合は早めに締め切る場合がございます
*参加費：会員…1,000円、会員外…2,500円 *昼食は各自ご持参ください

21 火 18:30~21:00

博多支部
1月例会

経営者の時間の使い方 ~タイムマネジメントはライフマネジメント~

電気ビル共創館 カンファレンスB ☎092-781-0709
福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館3階

山口 幸只 氏 ホイストアート有有限会社 代表取締役 博多支部
酒井 恭子 氏 Shamalo合同会社 代表社員 博多支部
川原 史郎 氏 メディカルケア合同会社 代表社員 博多支部

「時間がない」「寝る暇もない」「いっぱいいっぱい」こんな言葉が口癖になっていませんか?今回の例会では、様々な状況の中覚悟を持って優先順位を決め、時間と向き合ってきた経営者の体験報告をもとに、自分は何のために経営をしているのか、といった根本的なところから見つめ直すと同時に、経営者として夢や目的のために限られた時間を最大限活用するための方法を真剣に模索します。

新会員フォローアップセミナー

1月23日(木) 18:00~21:00

同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 振興センタービル11F
このセミナーは、新会員の皆さんが同友会の基本理念や歴史をよく理解し、また同友会の基本的な活動を知っていただき、各支部での活動へスムーズに参加いただくために開催します。入会して3ヶ月以内に必ず1度参加いただくことになっています。

経営指針作成『あすなろ塾』柳川会場

1月25日(土) 9:30~17:00(受付9:15~)

柳川 水の郷研修室 柳川市上宮永町6-3 ☎0944-75-6200
『あすなろ塾』は同友会における経営指針の基礎知識を学習する1日セミナーです。当日は、経営指針の全体像を理解し、経営理念の作成を目標に参加して頂きます。後日別開催の『経営指針作成セミナー』では、SWOT分析、財務分析等を学びながら経営方針・経営計画の作成を行っていきます。経営指針書をお持ちでない方はもちろん、お持ちの方も経営指針作成の第一歩であるこの『あすなろ塾』を受講し自社の経営理念を見つめなおしましょう。
*参加費：会員…1,000円、会員外…2,500円 *昼食は各自ご持参ください

第3回 広報情報化交流会

読みたいくなる文章とインスタ映えする写真
1月25日(土) 13:30~17:30

八幡西生涯学習総合センター折尾分館 第1会議室
北九州市八幡西区北鷹見町13-10(オリオンプラザ)
文章 林田 孝一 氏 KOHO株式会社
写真 瀬戸 正直 氏 株式会社スタジオ パッション 福友支部
広報・情報発信は中小企業の経営課題の一つです。たとえよい商品やサービスがあっても、また、よい会社であっても、認知されなければ宝の持ち腐れになってしまいます。今回の広報情報化交流会では、ブログやSNSなどインターネットで情報発信するにあたり、どのようにすれば、文章を読んでもらえるか、または印象的な写真になるかを、実際にフックをやりながら学びます。
*参加費：1,000円 *当日はタブレットまたはスマートフォンをご持参ください。

27 月 18:30~21:00

女性部委員会
1月例会

人は教育によって希望をもち、人生を切り拓ける

~人を生かす経営を軸に、社員の夢・実現を叶える~
ウイズスタイルフクオカ 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900
松波 正晃 氏 onde 株式会社 代表取締役 愛知同友会
女性の夢実現に向けて、自立支援を行い、女性活躍を実践されている愛知同友会の松波正晃氏をお迎えします。女性活躍・自立支援の実践事例を聞いて、自社に活かしてまいります。

28 火 18:30~20:30
(18:30~19:00委員会)

国際交流委員会
1月例会

メディカルツーリズム事業報告(仮称)

藤高 美海 氏
株式会社JEC 福岡市博多区奈良屋町5-10 ☎092-409-6510

企業連携推進委員会FAST1月例会

TVでおなじみ藤井聡先生の政策勉強会
「そのニュース、本当に信じて大丈夫!?
実は嘘だった! 日本経済の実態。」

1月30日(木) 18:30~21:00

福岡県中小企業振興センター4F401
福岡市博多区吉塚本町9-15
振興センター4F

藤井 聡 氏 京都大学大学院 教授
多くの経済学者やマスコミの情報は間違っています。真実は何なのかを藤井先生がわかりやすく解説。先生の話から真実を学び、今我々が何をやるべきかを一緒に考えてみませんか?



藤井 聡 氏

久留米
支部
新春講演会

筑後信用金庫理事長が語る!! 金融機関から見た地域経済

平成から令和の元号に代わった2年目、消費税増税による価格変動や働き方改革の本格導入など中小企業にとって対処すべき課題が多々出てきました。そのような中で企業を安定経営する為に金融機関との関係性は必要不可欠なものです。そこで今回は、筑後信用金庫理事長に中小企業を中心とした地域経済について講演していただきます。



江口 和規 氏

日時 2020年1月14日(火) 18:30~21:00
講演会18:30~19:30 懇親会19:30~21:00

会場 萃香園ホテル
久留米市柳原町87 TEL:0942-35-5351

報告者 江口 和規 氏 筑後信用金庫 理事長

福岡
地区
新春講演会

夢をかたちに

~黒霧島の開発とブランディング秘話~

1916年に創業した霧島酒造は、創業から104年目を迎えました。霧島酒造(株)代表取締役専務 江夏拓三氏より、創業者 江夏吉助の時代から受け継がれる霧島酒造の歴史を語る中で、ヒット商品「黒霧島」の開発やブランディング秘話をお話しいたします。また、創造開発型企業になるためのアイデア発想の方法や、「食と焼酎」の関係に重点を置いた広告宣伝活動についてのご紹介もあります。全社員の物心両面の幸せのために経営者として何ができるのか。少しでも経営者の皆様にお伝えできれば幸いです。



江夏 拓三 氏

日時 2020年1月17日(金) 18:30~21:00

会場 都久志会館ホール TEL:092-741-3335
福岡市中央区天神4丁目8-10

報告者 江夏 拓三 氏
霧島ホールディングス株式会社 代表取締役専務 企画室室長
霧島酒造株式会社 代表取締役専務 企画室室長

北九州
地区
新年祝賀会

中小企業こそが 地域経営の原動力

~中小企業が地域の若者を定着させ、
地域を活性化させる~

地域の魅力とは何なのかを地域と連携して探し出し、新しいものを生み出し、行政と同友会と企業、そして仲間となる地域の若者とともに、自分達の故郷を発展させる。そんな思いをもつ佐藤社長から、北九州の我々は何ができるか。一緒に学びましょう!



佐藤 全 氏

日時 2020年1月23日(木) 18:30~21:30
記念講演 18:00~ 賀詞交換会 20:00~

会場 JR九州ステーションホテル小倉
北九州市小倉北区浅野1丁目1-1 TEL:093-541-7111

報告者 佐藤 全 氏
株式会社ヴィークルー 代表取締役 (宮城同友会)

県南地区
りょうちく支部
有明支部
合同新春講演会

日本の未来の提言! 転換期における 中小企業・地域の役割は?

~里山資本主義から考える~

「生産年齢人口減少」と「高齢者激増」の同時進行や様々な問題を抱える日本。中小企業にとって経営環境は厳しい状況にあり、求人難に人材不足、消費税率アップ、入管法など新たな法改正も次々とあり、先が読めない状況です。経営者が経営環境を読み解き、今



藻谷 浩介 氏
(撮影:家の光協会)

の日本や地域の立ち位置をつかみ、新たな仕事づくりや地域の活性化の方向をつかめるヒントをいただきます。そのヒントを元に中小企業に求められる役割や、これから地域が進むべき方向をみんなで考えましょう。そのためには裏付けになる現状を数字として捉える必要があります。久留米市・うきは市・柳川市・大川市の具体的な数字を使用してもらう予定です。

日時 2020年1月23日(木) 19:00~21:00

会場 久留米シティプラザ大会議室(東側5階)
久留米市六ツ門町8-1

報告者 藻谷 浩介 氏
株式会社日本総合研究所 調査部首席研究員

大牟田
支部
新春講演会

人を生かす経営

現在の農業を取り巻く状況を見渡すと、農業生産者人口の減少や高齢化、耕作放棄地の増大など多くの課題が見えてきます。農業の現状を少しでも変えるため、農業を楽しく、やりがいに溢れた魅力ある産業にしたい。また、地域と共に地域が抱える課題解決に寄与したいという思いを、実現化するために取り組むべき課題や、実践を通して得た実績などを、お話し頂きます。地域の課題に置き換えた時、我々は何が出来るかを、共に学びましょう。



松岡 義清 氏

日時 2020年1月28日(火)
新春講演会 18:00~
新春祝賀会 19:10~

会場 ニューガイアオームタガーデンホテル
鳳凰の間 大牟田市旭町3丁目3-3
TEL:0944-51-1111

報告者 松岡 義清 氏
株式会社コッコファーム 代表取締役

筑豊
地区
新年祝賀会

同友会は経営者の宝島

~おせっかいな仲間達と出会い、学び、実践する。
失敗しながら、変わる~

主婦であった橋本氏は、圧倒的なワンマン社長だった父の会社に「明日の飯担当」として入社、茶業界の厳しい現実と自社の古い体質に直面します。10年間で売上が52億から45億になった厳しい状況下で三代目社長に就任し、同友会に入会。社員が自ら考えて行動する組織変革を行い、茶業界のビジネスパート



橋本 久美子 氏

ナーとして生産者から小売店まで全国8,000件の顧客に積極的に寄り添い、きめ細かい要望に応えるために小ロット多品種生産に舵を切り、デジタルのフィルム印刷機(エスプリ)を導入しました。そして消費者の要望にも積極的に耳を傾け茶業界にも共有やフィードバックを行い、業界全体を巻き込んで日本茶文化の伝承に注力しています。

日時 2020年1月31日(金) 18:00~21:30
記念講演 18:00~
賀詞交歓会 20:00~

会場 のがみプレジデントホテル
飯塚市新立岩12-37 TEL:0948-22-3840

報告者 橋本 久美子 氏
株式会社吉村 代表取締役社長 (東京同友会)



Windows7→Windows10

もうすぐWindows7のサポートが終了!



IT部会監事
倉本 明彦 (南支部)

マイクロソフトによるWindows7の延長サポートは、2020年1月14日で終了します。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4057281/windows-7-support-will-end-on-january-14-2020>

サポートが終了すると、更新プログラムの提供が行われなくなるので、様々なトラブルのリスクが高まります。具体的にはウイルス感染などです。頼みのワクチンソフトも、ほぼ同時期にサポートを終了することが多いです。安心してパソコンを使い続けるために、急いでWindows10へ入れ替えることを強くお勧めします。

しかし、気を付けないといけないのは、Windows7で動作していたプログラムが、Windows10では、正常に動作しないケースがあります。その場合には、該当プログラムのバージョンアップやデータ変換が必要になるかもしれません。

また、Windows10においては、特にWindowsUpdateをおろそかにしてはいけません。Windows10の場合、大型アップデートが年2回行われます。この大型アップデートによってバージョンを最新のものに更新することが、サポート期間を延長するための条件です。大型アップデートの後1年半は通常通りのサポートを受けられますが、次の大型アップデートで最新バージョンに更新しなかった場合は延長を受けられず、1年半経った時点でサービスが終了してしまいます。大型アップデートにきちんと対応することが、永久的なサポートを受けるための重要なカギになっています。

手持ちのWindows7のパソコンを、Windows10にアップグレードすることも考えられますが、古いPCだと、対応できないことや、スペック不足で動作が遅くなり、使い勝手が悪くなることも考えられます。

無償アップグレード時期を逃した方に救済処置があるようですが、

<https://www.microsoft.com/ja-jp/software-download/windows10>

腕に自信のない方は、よしたほうが賢明かもしれません。



CHECK



Windows7のサポート終了でリスクが高まるか?



アップデートはきちんと対応しよう!!



Windows10にして安心・安全な仕事を!



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター
〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索